

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2012-08-20

APM news 068

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



長岡造形大学

「博物館実習」 in APM

実習者：阿部春花、庭野真梨子

実習期間：6月24日(日)～7月8日(日)

実習時間：am11:00～pm5:00

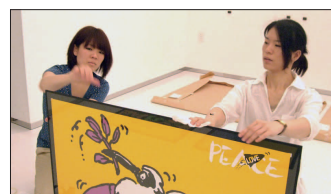
〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233



2011年度に引き続き、2012年度も長岡造形大学より依頼を受け、学芸員実習生を受け入れる運びとなった。APMでの博物館実習は2年目、実習生は昨年とあわせて4人目となる。

今回の実習では、現在秋山孝ポスター美術館長岡 (APM) で開催している展覧会の撤収から次の展覧会開催までの流れを学ばせる。実習内容は、広報活動、教育普及活動、会員サービス、作品の取り扱い、作品管理などである。広報活動では、webを介しての広報、展覧会資料の送付、現場へ赴いての広報と、大きく分けて3つの活動を行った。特にwebを介しての広報では、ブログによる広報活動を指導し、言い回しひとつとっても美術館スタッフとして相応しいかどうかを検討しながら取り組んでいた。教育普及活動では、APMが定期的、継続的に開催している「美術館大学」での補助業務をさせた。美術館大学が滞りなく進むよう、当日の流れを説明し、来館者の案内、会場設営、撮影などをさせた。会員サービスは、サポーターズ倶楽部入会者への送付物の発送や、展覧会案内の発送などをさせ、APMを支えてくださっているサポーターズ倶楽部について説明した。作品の取扱いは、展示作品の額装作業の中で学ばせ、作品管理ではいまままで収集してきたポスター作品を分類し、保管させた。展示室の壁の修復作業では丁寧な仕事ぶりだったこともあり、壁の穴や傷はほぼわからないまでになった。

今回の実習では最終日に、実習の報告を受けた秋山館長(多摩美術大学教授)、関根慎一氏(多摩美術大学講師)、御法川哲郎氏(長岡造形大学准教授)に講義をしていただいた。ポスターの美術館としての理念、展望、学芸員の必要性や価値についてお話いただき、APMがこれまで行ってきた試行錯誤やこれからの課題などを提示した。実習生たちもこの実習を受けた動機や感想、APMで学んだことなどを報告した。2012年度も2名が実習を終え、APMでは昨年とあわせて4名の実習生を送り出した。二人がこの経験を活かし、社会へ貢献していくことを期待している。(APM公式ホームページより抜粋)



実習風景／(右) 阿部春花、(左) 庭野真梨子